



坂本 勝司
横浜市会
(日立/戸塚支部)

より身近な議員として 議員活動と地域活動に 注力する

今年4月の統一地方選挙では、横浜市会2期目の選挙に挑戦させていただき、厳しい選挙戦の中、日立グループの皆さんのお力にて当選させていただきました。ありがとうございました。この4年間も横浜市議員として、横浜市民の安全・安心を守る取組みと、子育て世代の代表として、子育て環境の改善に力を入れて活動してまいります。また、日立グループ組織内議員としても、各事業所周辺の環境整備、従業員皆様の住環境改善等々、皆さんからの様々な声にお応えしていけるように、日立グループ議員団の連携や電機連合・連

合・政党と様々なネットワークを活用して対応していきます。引き続き、組織内議員に対しまして、ご理解・ご支援賜りますようお願い致します。

坂本勝司は地方議員として、議会活動と地域活動をしっかりと行ない、より多くの方とお話をさせていただけるように、毎週定例の駅頭活動や、夏祭り・秋祭りを含めたお祭り関係の会場、レクレーション大会などを開催している会場、スポーツ公園や防災拠点、敬老会や様々な同好会などにも立ち寄らせていただきますのでよろしくお願い致します。



皆さんのお力添えにより
横浜市会第2期当選
ご支援ありがとうございました

今号の読みどころ

議員団レポート… (かすみがうら市議会、日立市議会、静岡市議会、横浜市会)
幹事長の主張/秦野市議会選挙 当選御礼・ひたちなか市議会選挙 ご支援のお願い
大島衆議院議員・国政レポート …市民の「安倍さんは危ない、民主党頑張れ!」という声に応えるため全力を挙げて闘う

P 2~4

P 4

大島衆議院議員・国政レポート

総選挙でのご支援御礼、国民の声に伝えていく

先の総選挙に対するご支援を大変ありがとうございました。また、統一自治体議員選挙でご奮闘された皆さん大変お疲れ様でした。ご支援をいただきました働く仲間の皆さんのご期待にお応えるために全力で頑張ります。

現在、毎週月曜日の朝、日立グループ議員団の皆さんのご協力をいただきながら、常磐線の駅頭で、国政報告を行っております。最近の内容は、安倍政権による労働法制の改悪や「平和安全法案」(通称:戦争法案)などです。ある日、街宣活動終了後、駅に立ち寄られた年配の方から「俺は自民党支持者だが、安倍さんは危ない。これはだめだよ。自民党は保守政党であったが、安倍総裁となってから、自民党は右翼政党となってしまった。民主党はここで頑張ってくれ」と激励をいただきました。

駅頭街宣活動を終え、上京するために、常磐線の駅のホームで電車を待っていた時に、今度は年配の女性から声をかけられ「大島さんだね。安倍さんはだめだ。自衛隊が海外で武力を行使するようにしないでほしい」ということを言われました。また、同じホームに居た他の女性からも「安倍さんのやりたいようにさせてはだめだよ。民主党は頑張ってください」と話しかけられました。まさに、この声が主権者の声です。安倍さんは、市民の声も、憲法学者の声も、有識者の声も聞かずに、右翼の支持者の声を頼りに、暴走を続けています。

これらの安倍内閣の姿勢から、共同通信が7月17、18両日に実施した世論調査の結果によると、内閣支持率は37.7%でした。前回の世論調査では47.4%でしたから約10%の急落です。

不支持率が51.6%と過半数を超え、さらに、「法案に反対」61.5%、「政府は十分に説明していない」という声も82.9%となりました。

労働法制改悪・戦争法案を廃案に

「丁寧に国民に説明する」と語る安倍総理ですが、予算委員会でも特別委員会でも、「理解しないほうがおかしい、私の言うことを聞きなさい」と上から目線の一方的で高圧的な答弁姿勢に終始し、「ごまかし、はぐらかし、答えない」答弁が延々と続くだけの日が続いています。これでは、説明を聞けば聞くほど国民からの不信が増大しています。まさに、憲法違反の道理が通らないことを無理やり説明するから混乱が拡大し、支持率も急落するのは当然です。さらに、何か本音を隠している様子があり、本心を語りません。だから、国民の理解が広がらないどころか、説明すればするほど、反対する人が増えているのが現状です。したがって、この際、法案を撤回して、出しなおすことです。あるいは、どうしてもこのままの法案を通したいのであれば、まず、自民党の選挙公約通りに、集团的自衛権行使の憲法改正案を提出して、国会での2/3の賛成を得た上で、国民投票を実施し、主権者の審判を得た上で、改正法案を提出すべきです。

とにかく、第二次安倍内閣発足以来、これまでの2年半、安倍政権は、「景気回復、この道しかない」という看板を掲げておりますが、平和・人・地域社会をないがしろにしており、安倍政権に対する不安が増大しております。安倍政権を退陣させ、労働法制改悪をストップさせ、戦争法案を廃案とするために皆さんとともに力を合わせ全力を挙げて闘います。



日立グループ議員団幹事長
栃木市議会(日立AP労組/栃木支部)

千葉 正弘

平穏な日本は、
どっかへ進もうと
して居るのでしょうか

日本はどこへ進もうとしているのでしょうか

日立グループ議員団は、7月15日に総会を開催し、この一年間の評価と反省を行ない、次の一年間の活動方針を確認したところです。

直近で行なわれました、秦野市議会議員選挙におきまして、八尋伸二氏が当選を果たすことが出来ました。関係された皆様方に感謝と御礼を申し上げます。

さて、私たちが平穏に暮らしている日本という国は、どこへ進もうとしているのでしょうか。既にご承知の通り安倍自公政権は、7月15日の衆院特別委員会と16日の衆院本会議で民主党など野党の反対を押し切って、安保関連2法案を強行採決し、参議院で議論されています。

憲法上違憲という専門家の公式な場での発言にも耳を貸さない、安倍政権の強硬な政権運営。なぜ、今この時期に、この内容を議論しなければならないのか理解出来ないと思っ

た自民政権も含め歴代内閣が40年以上にわたって確立してきた、「集团的自衛権は憲法上行使出来ない」という見解を、憲法解釈で、しかも閣議決定だけで変更してしまいました。世論調査でも多くの「説明は不十分」「反対や懸念の声」が出されている中での強行採決です。

民主党の考えを国民に伝える機会

現政権の動きを見ていると、冒頭で記載した通り、「日本という国は、どこへ進もうとしているのか」が不安です。

今後の国政選挙において、安倍政権暴挙に対する反発が形に表われてくると信じています。民主党の考え方を国民の皆さんに伝える絶好の機会と捉え、各地域での活動を地道に続けていきたいと思います。

電機連合公認候補の矢田わか子氏必勝に向けて、日立グループ議員団も微力ながら応援させていただきます。

当選御礼(秦野市議会)



八尋 伸二
(神奈川支部)

ご支援ありがとうございました

ひたちなか市議会選挙
(10月25日投票)

ご支援よろしくお願いたします



三瓶 武
(水戸支部)



深谷 寿一
(ルネサス那珂)



武藤 猛
(日立ハイテク)



岩本 尚之
(日立工機)



北原 祐二
(日立AMS)

市民の 安倍さんは危ない、民主党頑張れ!

という声に応えるため 全力を挙げて闘う

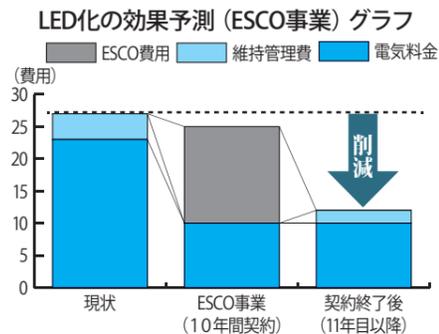
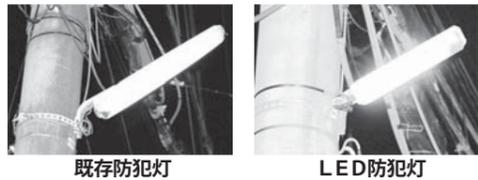
日立グループ議員団会長 衆議院議員
大島 章宏



市政だより

市内全域の防犯灯をLED化

CO₂削減とコスト削減に積極的に取り組む



川村 成二
かすみがうら市議会
(日立建機/土浦支部)

効果が明らかになっている防犯灯のLED化について、市の効果的な事業として積極的に推進してもらうため、一般質問でメリットを数値化し改善への気づきを提案しました。平成27年度の事業として予算計上され、実施に向け推進されています。

防犯灯をLED化するには、1年単位で負担可能な予算に応じた台数を交換する方法と一括で全てを交換する方法がありますが、前者は全域のLED化に時間がかかることから効果の刈取りが遅くなり、後者は一時的に多額の初期投資が発生することから財政に大きな負担となり、なかなか事業化されないのが現状でした。

一般質問では、LED化を推進した自治体を広く調査し、実現性が高く行政の現状コストも軽減しながら一括でLED化できるESCO事業(エネルギー・サービス・カンパニー)の導入を提言しました。ESCO事業とは、民間の資金やノウハウ、技術力を活用し、10年間の管理運営を委託したあと行政に管理を引き継ぐもので、11年後から大幅に電気料金の削減を実現することが出来ます(グラフ参照)。また、ESCO事業には防犯灯の位置情報、設置場所、設備内容等詳細なデータを管理する防犯灯管理台帳システムの運用も含まれていることから、設備の維持管理の効率化も期待されています。

スポーツを通じたまちづくり

市政だより

新中央体育館建設事業と茨城国体準備に取り組む



白石 敦
日立市議会
(日立ICS)



建設中の「日立市 池の川さくらアリーナ」

日立市では、東日本大震災で罹災した市民運動公園中央体育館を建て替えるため、平成24年度から新中央体育館の設計作業に着手し、平成28年度中の完成をめざして、現在、建設工事を行なっています。

この間、新中央体育館の愛称が公募により「日立市池の川さくらアリーナ」に決定しました。この愛称には、新中央体育館の建設場所である「池の川」という地名と市の花である「さくら」を取り入れ、震災からの復興と未来への希望の想いが込められています。

「日立市 池の川さくらアリーナ」は、平成31年に開催される『いきいき茨城ゆめ国体』のバスケットボール(成年・少年男子)と卓球(全種別)の競技会場となりま

す。また、日立市発祥のスポーツ「パンポン」がデモンストレーションスポーツとして行なわれます。

今年度から日立市では、茨城国体への取り組みとして、今後の業務量の増大を見込んで任期付職員を採用に関する条例の制定やスポーツ振興課内に国体準備担当者を配置し、本格的な準備に取り掛かっています。

日立市の子どもの体力・運動能力は、全国的に見ても高い結果を得ております。民主クラブとしては、企業スポーツチームによる子どもたちへの技術指導やスポーツ環境の整備を働きかけながら、茨城国体で活躍できる選手育成と、新中央体育館を拠点にスポーツを通じた賑わいと活力あるまちづくりに努めてまいります。

待機児童ゼロに挑戦

市政だより



鈴木 直明
静岡市議会
(日立AP/空調支部)

子どもたちの夢や希望が満ちあふれる街づくりに努める



認定こども園の様子

静岡市は「第3次総合計画」をスタートし、その最大目標として、第1次ベビーブーム世代が後期高齢者となる2025年「総人口70万人の維持」をかけた。また、

静岡市は「第3次総合計画」をスタートし、その最大目標として、第1次ベビーブーム世代が後期高齢者となる2025年「総人口70万人の維持」をかけた。また、本市の人口は70万3,000人、自然・社会減が現状のまま推移すると、2025年に65万3,000人になると推計され、また平成26年度の出生数も政令市20市最少の5,371人、出生率も1.41です。10年後65万3,000人が、現実味をおびてきます。

そこで本市は、子育てしやすい街をめざし、本年4月全国初の試みで、市立幼稚園・保育所を「認定こども園」に移行しました。利用定員も1,091人増え、待機児童ゼロが期待さ

れましたが、旧定義で74人(前年156人)、新定義で141人が待機児童になりました。保育量の確保は絶対条件ですが、その前に行政が市民目線で、保護者個々の状況を把握し、きめ細やかな支援を継続的に行なえる体制を築いておくことが必要です。

私も日立グループ議員団の1人として、市民との対話を大切にし、何より子どもたちの夢や希望が満ちあふれる街「静岡」になるよう努めていきます。

市政だより

『日立市まち・ひと・しごと創生総合戦略』に着手



日立市の魅力と活力の創出に努める



塚田 明人
日立市議会
(日立パワー)

6月29日に開催された第1回日立市地域創生有識者会議

日立市は少子高齢社会の進行とともに、人口減少に歯止めがかからず、まちの賑わいや活性化などの持続可能な社会形成に多くの課題が残されています。

現在、国や茨城県が策定した創生総合戦略を勘案しながら、日立市における人口動向や将来展望を示す「日立市人口ビジョン」と2015年度から5か年の政策目標や施策を示す「日立市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定に着手しました。

戦略の策定については、産・官・学・金(金融)・労(労働)・言(言論)と官の立場として議会から4名(各党派1名)の議員のほか、コミュニティー・女性・若者・高齢者などの市民団体を加え、総勢38名で構成された有識者会議を設置し、本年12月の戦略策定を目的に6月より具体的な協議がス

タートしています。一方、戦略策定の重要な取組みとして、地域の活性化を目的に北茨城市・高萩市・日立市の3市で本年1月に協定を締結し「茨城県北臨海地域活性化研究会」を設置しました。

研究会は3市が相互に連携・協力し、地理的な調査研究や共通する重点施策の抽出、さらには地域の特性と課題の抽出などを行ない、3市の総合戦略に反映させる基礎調査報告書として纏めました。

日立市が将来的に持続可能な社会形成を成しとげるためには、県北地域全体の連携が不可欠と考えており、民主クラブとして、日立市の魅力と活力の創出に努めるとともに、県北地域全体が発展出来るよう全力で取り組んでまいります。